

RYLA

Rotary Youth Leadership Awards

ロータリー青少年指導者養成プログラム

実施報告書

テーマ 行動しよう、未来のために。
新しい視点で持続可能な地域社会のために
何をすべきか！

日時 3月8日(土)～3月9日(日)

会場 岩国市錦町(深谷峡温泉 清流の郷)

主催 国際ロータリー第2710地区
2024-25年度 RYLA実行委員会

ホスト 岩国ロータリークラブ



RYLAを終えて

2024-25年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

上田 文雄

当地区のRYLAは、「行動しよう、未来のために。～新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか～」のテーマのもと岩国市で開催されました。錦川清流線で岩国駅から錦町駅に向かう車中で、錦川鉄道・廣田幹社長に、錦川清流線の現状と課題に対する改善の取り組みについて講演していただきました。そして、岩国市の深谷峡温泉 清流の郷では、安行英文RI第2680地区パストガバナーの基調講演と、地元の活性化に取り組んでいる堀江甲士様の講演をお聞きしました。参加者は講師の皆様のリーダーシップや地域の活性化に対する取り組みなど熱い思いを聞いて、リーダーとして取り組む姿勢に大きな刺激を受けていました。その後、各クラブ推薦の一般参加者とローターアクターのグループ、ロータリアンのグループに分かれて、人口減少高齢化が進む地域の活性化策について検討しました。一般参加者とローターアクターという同世代で議論することにより、大きな刺激があったと思います。また、最後のグループ別発表では、地域の活性化策について具体的な案や、若者らしい夢のある案など様々な意見が出ていました。講師の堀江様も、具体的で実行可能な案があるので是非取り組んでみたいと喜んでおられました。参加者にとっても学びの多い2日間だったと思います。ぜひ皆さんの会社や組織でもこの経験を生かして、リーダーとして積極的に取り組んでほしいと思います。

一方、課題としては参加者が少なかったことが挙げられます。次年度から、地区の組織としては青少年奉仕委員会（RYLA委員会）としてRYLA担当であることを明確にするとともに、RYLAのノウハウの蓄積を行い、より良いRYLAが開催できるように体制を強化していきます。そして、これまでの参加者にも継続的にかかわりを持ってもらえるようにして、参加者がより増えていくようにできればと思います。



歓迎の挨拶

岩国ロータリークラブ 会長

松塚 茂治

本日は、岩国ロータリークラブ主催の『ロータリー青少年指導者養成プログラム』にご参加いただき、誠にありがとうございます。

まず初めに、このRYLAの地区大会開催にあたり、多大なるご協力を頂いた皆様に心より感謝申し上げます。また、参加者の皆様がこの地区大会を通じて多くのことを学び、成長されることを心から願っております。

今年度の当地区のRYLAは、上田ガバナーの『行動しよう、未来のために。』をテーマにしております。次世代につなげる持続可能な社会を実現するために、出来ることを皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

本日は、錦川清流線を題材にして、地域活性化に取り組む先達から、『培った経験』『知識』、そして『リーダーシップ』を学ぶ貴重な機会です。

また、参加者同士の交流を深め、お互いに刺激し合いながら成長していくことも、このプログラムの大きな目的の一つです。地域社会の発展と持続可能な未来実現に向けて、皆様と共に学び、積極的な意見を交わし合い、この二日間で多くのことを吸収して頂きたいと思ひます。

スケジュール

[1日目] 3月8日(土)

- 10:30

登録・受付
- 11:26

錦川清流線 新岩国駅発 講演: 汽車内(30分)
講師: 廣田 幹氏(錦川鉄道株式会社 代表取締役社長)
講演後: 昼食
- 12:17

錦町駅着・記念撮影
- 12:35

バス乗車(移動)
- 13:10

到着(深谷峡温泉 清流の郷)
- 13:30

開会式
- 13:50

基調講演(50分) 質疑応答含む
講師: 安行 英文氏(RI第2680地区パストガバナー／三田RC)
- 14:40

休憩(10分)
- 14:50

セッション1
リーダーシップについてのワークショップ(50分) 発表含む
- 15:40

休憩(10分)
- 15:50

特別講演(50分)
講師: 堀江 甲士氏 (株堀江金物店 代表取締役・有錦プロパン 専務取締役)
- 16:40

質疑応答(10分)
- 16:50

休憩(10分)
- 17:00

セッション2 グループ討論 (60分)
テーマ「新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか!」
- 18:00

移動(各部屋)
- 18:30

食事
- 19:00

入浴 コテージ1, 2より15分間隔
- 20:00

交流会① 錦町紹介 廣田社長・堀江社長
- 20:30

交流会② レクリエーション (アルゴゲーム)
- 21:30

移動(各部屋)
- 22:00

就寝

[2日目] 3月9日(日)

- 7:30

起床・清掃活動 集合場所(本館入口)
- 8:30

朝食
- 9:00

セッション3 (ワークショップ)
テーマ「持続可能な地域社会にするための新たな取り組み」
- 10:30

グループ発表 5分×4グループ (20分)
- 10:50

休憩(10分)
- 11:00

閉会式

開会式の様子

式次第

13:30	開会式	
	点鐘	
	開会宣言	RYLA実行委員長 山本 茂男
	国歌斉唱	
	ロータリーソング(奉仕の理想)	
	歓迎の挨拶	岩国ロータリークラブ会長 松塚 茂治
	ガバナーエレクト挨拶	RI第2710地区 2024-25年度ガバナーエレクト 土肥慎二郎
	講師紹介	岩国ロータリークラブ 末河 聡



受付



開会宣言



ロータリーソング斉唱



歓迎の挨拶



ガバナーエレクト挨拶



講師紹介



来賓・講師



閉会式の様子

式次第

11:00	閉会式	
	講評	RI第2710地区 2024-25年度ガバナー 上田 文雄
	修了証授与	RYLA実行委員長 山本 茂男
	特別賞発表	(株)堀江金物店 代表取締役 堀江 甲士
	受賞者挨拶	
	閉会宣言	RYLA実行委員長 山本 茂男
	点鐘	
11:45	移動(バス)	※錦町駅12:31発 新岩国駅13:27着



講評



修了証授与



特別賞発表



特別賞



受賞者挨拶



特別賞表彰



特別賞



受賞者挨拶



閉会宣言

汽車内講演

演題

錦川鉄道 代表取締役社長としての 取り組みについて

講師

錦川鉄道(株) 代表取締役社長 **ひろ た たかし 廣田 幹氏**

2000年4月 山口銀行 入行
2012年11月 同櫛ヶ浜支店 支店長代理
2014年9月 同市場営業部 副調査役
2017年6月 山口フィナンシャルグループ市場統括部 副調査役
2021年6月 錦川鉄道(株)出向、同代表取締役社長就任 現在に至る



「錦川鉄道 代表取締役社長としての取り組みについて」と題し、錦川清流線の客車一両を貸し切り、そこで講演を行って頂きました。廣田社長は、2021年6月に山口フィナンシャルグループより錦川鉄道(株)へ出向され代表取締役社長に就任されて現在に至っておられます。話は、会社の概要と赤字をカバーする為に事業領域を広げた5つの事業説明、それから錦川鉄道5年間の業績推移を数字で説明され、売り上げを伸ばし、赤字幅が縮小している取り組みの基となる現状分析(SWOT分析)を話されました。強み弱みをしっかり見極め認識することで事業の改善を進めて来られたわけですが、優先順位を明確に打ち出され、危機管理としての安全向上の見直しを一番に掲げられ、ステークホルダーへの対応やCS向上にも率先垂範で取り組まれておられるとのことでした。また、廣田社長が経験された中で「リーダーに必要な能力が向上する為には」という話では、口だけでは行動が伴っていないと言われなように率先垂範や社員のモチベーションを上げる仕組み、働きやすい職場を現状より良いものにする計画、相手に自分の意見を伝えるコミュニケーション能力だと言われておられました。

結びに、若いリーダーである受講生に「自分のできること、その少し先に手を伸ばし行動してください」とエールを送られました。

(寄稿/岩国RC 坂井幸栄)



基調講演

演題

君たちに伝えること(将来のリーダーたちへ)

講師

国際ロータリー第2680地区2023-24年度ガバナー
三田ロータリークラブ

やす ゆき **安行** えい ぶん **英文氏**

1995年 ロータリークラブ入会
1999-2000年度 RYLAワークショップ部門別委員
2011-12年度 三田ロータリークラブ会長
2019-20年度 阪神第3グループ ガバナー補佐
1989年-現在 (公財) 神戸YMCA常議員・維持会員



講演趣旨

1. 変化の可能性はあるのかー私たちの想像力で世界のイメージを描き出す

2. 今の社会を表す3つのキーワード
相互依存ー何もかも連結された世界
スピードー急ぐ文化を生んだ。時間はますます基調
複 雑 性ー相互依存と相互接続が理解を超えたことを引き起こす

3. 私たちの社会の変化
人間らしさの見直し 不確実性
社会とのつながり 不平等
連帯感 グローバリゼーション

4. 土佐光起が日本絵画の特徴を述べた言葉
“白紙ももようのうちならば、心にてふさぐべし”

5. 長谷川等伯ー松林図屏風(余白の多い絵)

6. 余白の美意識
余白をもって、想像する、創造する
余白は成長する

7. 始まりとしてのライラ
Graduation (卒業) とCommencement (開始)

8. 5客の向こう付け
ヨーロッパと日本の美意識の違い

9. 資本主義の文化的矛盾(ダニエル・ベル、1976)
政治、文化、技術・経済
このまま進むと、3つがバラバラになる

10. 現代社会が罹っている7つの病気

11. Put Oneself in Someone's shoes
(～の立場で考える)

12. 人生の過渡期の中でのライラ
今後自分がどのように社会と向き合っていきたいのか

↓
自分はどのようなポジションで社会に貢献していきたいのか
↓
見つけるために参加
“このライラの航海で新たな一歩を踏み出して
いける岸辺を見つけるのか”

13. 幸福の条件
どれだけ架け橋をつけるのか

14. 人間関係
信頼と信用

15. 映画「12人の怒れる男」
→「問いかけ」の重要性、を訴える
→ハーバード大のリーダー開発に取り入れられている



※前年度 RYLA 実施報告書より抜粋

セッション1

リーダーシップについてのワークショップ



特別講演

テーマ 行動しよう、未来のために。

講師

堀江 甲士 氏
 (株)堀江金物店 代表取締役
 (有)錦プロパン 専務取締役
 やましろ商工会青年部 常任理事/錦支部監事
 山口県商工会青年部連合会 直前会長・ひろせ本通り会 副会長
 岩国市消防団 錦方面隊 第1分団2部 部長
 広瀬高校同窓会紫明会 副会長・錦川清流線を育てる会 役員
 We love 清流線 実行委員長・錦川オオサンショウウオの会 役員
 (株)スマイルにしき 取締役



私が思うリーダーとは【人の心を動かし統括できる人】

- 1. 将来の在るべき姿を明確に定める(ビジョン策定)**
 地域を分析 (SWOT)
 長期ビジョンと中期ビジョンの策定
 在るべき姿はソフト事業またはハード事業かを明確にする
- 2. 行動する力**
 行動することで人の心を動かす
- 3. ビジョンを共有し伝える力**
 ビジョンを伝え方向性を定める
- 4. 人をまきこむ力**
 ひとりの力ではなくみんなの力で 大きな成果を得たいのならば少しずつ多くの人をまきこむ
- 5. 喫緊の地域課題**
 清流線存続問題
- 6. 行動したこと**
 - ①We love 清流線 設立
 (メンバーは地域団体や地域住民)
 - ②決起式の開催 125名参加
 地域住民や地域団体へ目的、想い、今後の取り組みを共有し多くの人をまきこむ
 - ③地域住民と利用促進
 - ④再決起式の開催 (再度結束力と機運を高める)
 135名参加
 2年間の利用促進事業の報告とお礼、再度理想促進のお願い
- 7. 利用促進を図った結果**
 - ①1000名以上の乗車 ②町内の連携強化
 - ③中学生の成長 ④町外のみなさんとの繋がり
 - ⑤令和5年度、前年比より年間2,500万の赤字額削減
- 8. 苦労したこと**
 自然を活用したイベントが多く、天候に左右される (雨天、増水対策)
 多くのイベントを行うことでスタッフの負担が増す
- 9. 気づき**
 イベント時の役割分担
 メンバーの強みを活かし役割配置を
- 10. 最も伝えたいこと**
 身近な人間関係が最も重要、キーワードは人である
- 11. 今後の取り組み**
 - ①清流線利用促進の継続
 - ②(株)スマイルにしき設立(まちづくり会社)→稼ぐまちを目指すための運営会社
 長期ビジョン、中期ビジョン設定
 にしき産品ステーション(公共施設)運営管理
 ビジターセンターの設置
 広瀬分校跡地の活用計画の策定
 - ③地域コミュニティの継続強化
 - ④視察研修
- 12. 私の想い**
 - ①宝を活かし稼ぐ町をつくる
 - ②行動することであきらめない前向きな気持ちを
 - ③子供たちが誇りに思える町をつくることは大人の責務
 - ④少しずつ結果を
 - ⑤日々支えてくれる仲間感謝する

大切なことは行動力と身近な人間関係



セッション2, 3

セッション2: グループ討論 テーマ『新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか!』



セッション3: ワークショップ テーマ『錦町を持続可能な地域社会にするための新たな取り組み』

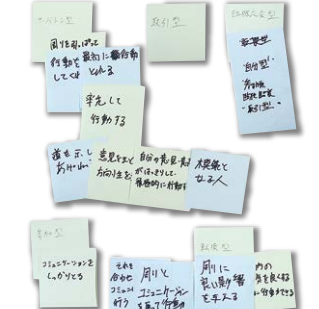


グループ発表

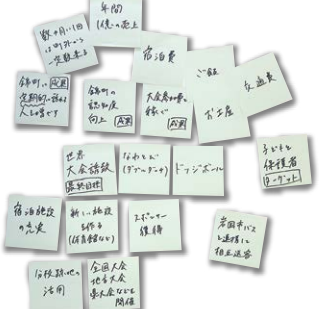
グループ1



グループ2



グループ3



グループ4



RYLAを終えて

※原文のまま掲載

グループ1

福谷 総大

令和7年3月8日、9日、RYLAに参加させていただきました。
山口県岩国市錦町の深谷峡温泉清流の郷において開催され、錦町において地域活性化に取り組む方々からリーダーシップとは何たるかを学んだ。

まずは錦川清流線の電車に乗り込み、錦川鉄道株式会社の代表取締役社長廣田様による、基調講演。電車に乗りながら講演を聞くというのは初めての経験だったが、利用者減少が続く現状をどのように切り抜けていくかを伺った。

清流の郷に到着し、続いてがRID2680直前ガバナー安行様による基調講演。現代を生きる若者に向け、リーダーに必要な力についてご講演いただいた。

特別公演では、やましろ商工会青年部錦支部堀江様によるご講演。本業の他に、錦町を盛り上げるWe love 清流線実行委員長、(株)スマイルにしきと、多岐にわたる事業を行っているとのことでした。

グループに分かれてワークショップや討論も行った。特に最終日には、「新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか」をテーマに議論を行い、グループ1では錦町を魅力的な街にするという方針のもと、既存の錦町の魅力を広め、発展していき、外部の方々に知ってもらおうというものを発表した。

その他、岩国市出身の数学者弘中平祐さんが考案されたアルゴゲームを親睦を深めるために行ったりと、楽しめる内容が盛り込まれていた。

感想としては、リーダーとして立候補したものの、統率することの難しさを感じた。多様性があると当然ベクトルもばらつき、相手をどう納得させるか、自分の意志とどう折り合いをつけるか、チームとしてどこへ向かうのか、それらの難しさを痛感しました。しかしながらリーダーとしてチームを導くために、自分が変わろう、開いていこうと行動したことは、自分を見つめ直すきっかけになったと感じる。地元リーダーとの交流を通じた学びは、自分の可能性を発見し、今後の行動につながるように感じた。

グループ2

河野 太牙

2班のテーマの最も重きを置いた点は一過性でなく、持続可能なサイクルを形成することに重きを置き考えを進めました。
その中で、「人を集めること」と「人が集まること」がともに成立した際に、継続した商店街運営ができ、それぞれに対し対局の施策が必要だという考えにいたりました。そのうえで、ともに成り立つ方法を考えるためにディスカッションを行いました。

まず「人を集める」ためには、魅力の発信が必要となります。そのためにも食の錦町を売りにし、地元の名産（わさび・鮎など）を使用し専門店の確立を軸とすることが必要だと考えました。すでに道の駅には一定数の集客が見込めておりますので、そちらと抱き合わせての利用を促進するためにも、たとえば地方版のキャッシュレス決済用のアプリなどと連携して「錦町エリアでの還元率UP」キャンペーンなどを定期的に打つことで、新しい客層の開拓にもつながると考えました。

また「人が集まる」ことで一番大切なことは一定数人が集まる（居る）ことで自エリアへのお金が入ることです。その土台をつくるためには、地元の住民が増えること・居つくことが重要になってきます。たとえば地域の住民が集まる拠り所になるような居酒屋や定食屋、カフェなどの飲食店の増数をはじめ店舗の運営が安定することが大切です。

その双方をともに成立させるために2班での案としては「空き店舗や営業する体力のない店舗を若い世代が運営する」仕組みを作ることが良いと考えました。無償貸し出しや昼（夜）のみの時間貸しなどを運営委託することで、商店街が賑わい、若い世代の働く場所になることで、人口の増加にも直結するのではないかと、思っております。

ゆくゆくの結果として、たくさんの魅力ある店舗が増えた商店街が、遅い時間まで店舗が運営され、宿泊施設の運営なども若い世代が担い、人が増えることで錦川清流線も利用者数が増え、黒字鉄道になる日も来るのではないのでしょうか。

末筆にはりましたが、この度は錦川清流線に乗りし、美しい景色を楽しみながらの講演・昼食にはじまり、町を盛り上げるためになにかができるか、という2日間のテーマ、観光業に携わっている身として非常に想いの入るテーマでございました。

気持ちの良い環境で、いろいろな意見や考え方を吸収し、また各ロータリーさまからの同世代・年下の参加者の皆さまの熱量に感化されるとても良い機会となりました。

グループ3

菊池 正太郎

私はこの度のRYLA研修に参加させていただき、講師の方の講演や他参加者の意見交換から広い視野を持つことの大切さを再認識させられた。年齢、職種、考え方、様々なものが違う参加者同士であり、似たような意見はあっても一つとして同じものはなかった。

そんな中私はリーダーに選んでいただき、意見を班員が納得できる形にすることに苦戦した。我々の班のテーマはスポーツであり、私の意見を採用していただいた。しかし、スポーツをしている私はその魅力や持っている力を十二分に理解しているが、していない人にとっては表面上の話をしても想像しにくいだけであり関心を引くことが出来ない。自分自身の実体験等を交えて具体性を増すことで詰めていくことが出来た。リーダーとして、班員のベクトルをそろえなければならず、それはただ一方的に示すだけでは成立せず、他の意見を聞き入れてばかりでは多様性に見せかけたただの芯がないものになってしまうため、そのバランスを考えることに難しさを感じた。裏を返せば私がリーダーになるために足りない能力がそこであると自覚させられた。優柔不断な面があり、そこが自信のなさとして出てしまい上手く言語化できなくなってしまう。そこを補わなければ、今回の研修で学んだリーダーシップを発揮することは難しいため、今後はこの弱点を補填していきたいと考える。

この研修では様々な意見や話に触れる機会を頂いた。その中でリーダーの難しさ、視野を広げること多角化することの大切さを学ぶことが出来た。また、自分自身の弱点を再認識でき、成長のヒントも得ることができたため大変有意義な研修会となった。

グループ4

板井 貴大

まず清流新岩国駅より錦川鉄道の列車に乗って錦町駅へ。車中では錦川鉄道(株)代表取締役社長の廣田様による御講演があり、錦川鉄道の会社概要や業績実績・現状の分析・取組および実績・廣田様のご経験を基にしたリーダーシップについてお話がありました。

現状として財務的にも大変厳しいものがあるが、地域を巻き込んだ沿線地域の利用促進の盛り上がりによって、売上が回復し、赤字幅が減少をされているとの事でした。

錦町駅に電車に到着すると「やましろ商工会」の方によるお出迎えの後、バスにて深谷峡温泉へ移動。開会式を経て、2680地区バスターガバナー安行様による基調講演。

日本と世界の違いということで、西洋は独自文化を貫くが、日本の場合は西洋文化と日本文化を組み合わせ独自文化を作ったり、また、音楽でも西洋では音階というものがあるが、日本では尺八など独自の譜があるといった話もございました。

また、その後は「リーダーとはどんな人をいうか」・「リーダーシップとはどういう事か」を各チームに分かれてワークショップを実施。「リーダーとはどんな人か」に関しては私の班では、「決断力のある人」・「他人の意見を尊重する」などといった意見が出ました。

そして、ワークショップ終了後は「やましろ商工会青年部」の堀江様による特別講演。青年部の活動・錦町の現状と課題・SWOT分析・地域活性化に向けたプロジェクトの実施状況や今後・約2年間の錦川清流線の利用促進結果など様々な貴重なお話をいただきました。

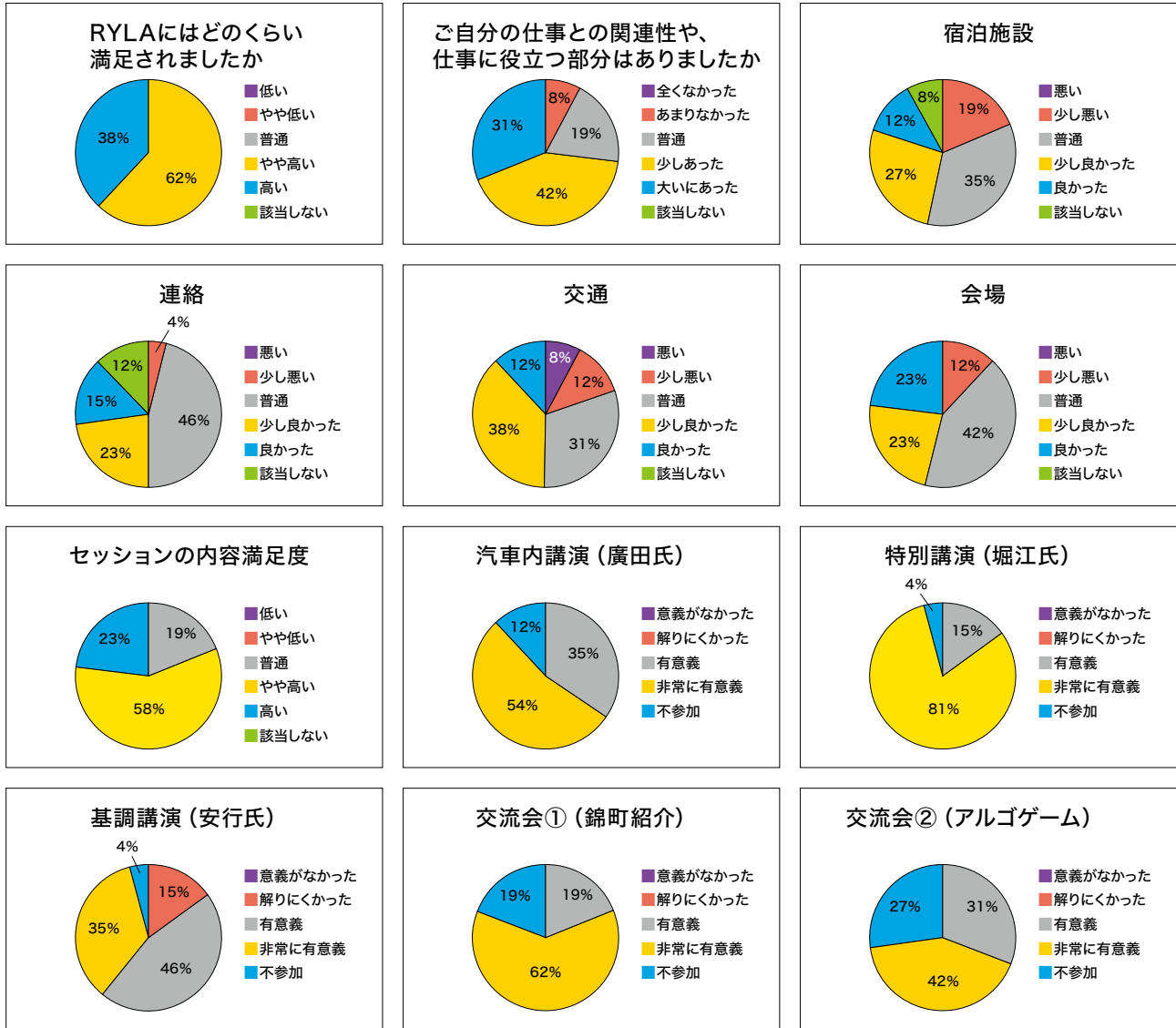
特別講演終了後は「新しい視点で持続可能な地域社会のために何をすべきか」といったテーマで、どうすれば錦町という地域が活性化するかを各グループ内にて議論。普段見えない方の意見を聞いてみるということでSNSでのアンケートといった意見もございました。終了後は、夕食・入浴を経て、錦町の紹介・レクリエーションとしてアルゴゲームを実施し、就寝。

2日目はワークショップということで地域活性をするにあたって目標をどこに置くのかといったタイトルでワークショップを実施。ディズニーの誘致やふるさと納税・アスレチックの設置など若者らしい意見も多く飛び交いました。

最後に、今回のRYLAを通じてリーダーシップについて改めて考える事ができ、かつ地域活性化に日々取り組まれている方々の活動内容を生で何う事ができました。また、どうしても更に活性化する事ができるのかを参加者一同が考えるプログラムもあった為、ある意味では今回のRYLAを通じて錦町・錦川清流線にも社会貢献をすることができたのかかもしれません。大変有意義なRYLAとなりました。参加ロータリーアクターにとっても今後の活動の参考となる大変有意義な内容だったと思えます。

アンケート集計結果(抜粋)

参加した受講生+ロータリアンの合計50名中29名の回答から



このイベントでは、主にどのようなことを習得しましたか？

- ・リーダーシップの重要性
- ・リーダーシップについてや地域活性化を例とした人とのつながりの重要性について考える
- ・錦町愛が皆さん強く、青年部中心に町の皆さんを巻き込み、伝統を大切にしていくなかに感銘を受けました。簡単なことではなく諦めずに力を合わせ進んでいく姿が素晴らしい。都会に住んでいると考えもしなかった事で気づくことはなかったと思います。
- ・リーダーとはどんな存在か、どのような能力が必要になってくるかを学ぶことができた。
- ・普段集団行動することが無かったし、昔から苦手だったのですが、たまにはこういうのもいいなと思いました。自分の突飛すぎる意見も受け入れてくれる方がいて人間で優しいなと思いました。
- ・リーダーについて
- ・リーダーシップとは何かを改めて学びました。
- ・過疎地の現状と対策
- ・岩国RC様からのご案内
- ・年齢や業種、居住地、歩んで来た道が違う人だからこそ様々な視点があり、意見を交わし合うことの大切さを学べた。
- ・仲間
- ・リーダー育成の学びと人との関わり、地域愛を学びました！

イベント運営に関するその他のフィードバック

- ・鉄道内での講演というのが斬新で強く記憶に残った。
- ・お弁当は美味しかったのですが、あまり続くのはご勘弁。
- ・普段同世代の方と関わる機会がないため、他業界について知り良い刺激となった。
- ・施設のレイアウト上やむを得ませんが、座敷での受講は腰・足がきつかったです。ロータリアンと一緒にワークショップをするのは意義のあることだと感じました。大変でしたが(笑)

セッションや全体的な日程について他にコメントがございましたらご記入ください。

- ・セッションやグループワークが楽しかったが、何を話し合えばいいかが理解しにくかった。
- ・堀江氏の熱い話しが聞けたことがとても有意義であった。
- ・1泊2日の行程がベストだと感じた。
- ・日程はこれくらいでよいのか。
- ・錦町という地域も巻き込んだ大変素晴らしい内容でした。このRYLAを通じて参加者が様々な意見を交わす事ができたので、ある意味、錦町への社会奉仕にもなったのではないのでしょうか。

イベント全体についてのフィードバックがございましたらご記入ください。

- ・司会の方の話し方がハキハキとしていたので、学んでいきたいと思った。
- ・逆隣の過疎地の中で、堀江氏のように限りなくアクティブな方を見ると熱くもなり、何らかの形で応援したくもなりました。ご縁に感謝です。ただ一つ残念なのが、これだけ良い企画なのに参加者がすくなかったのが勿体なく感じました。私たちも含め、各々の周知と協力が必要ですね。
- ・全体的にご飯の量が多かった。
- ・施設が終始寒かった。
- ・実行委員会の皆さんが和気藹々と笑顔で対応されているのが印象的でした。手作り感のある温かみのあるRYLAでした。錦町のご健闘を祈念申し上げます。
- ・お世話をされたスタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした。特に、ずっと進行をされた坂井さんには敬服致します。
- ・企画から準備など、担当された方はさぞかしお疲れのこととお察しいたします。おかげさまで、有意義な時間を過ごすことができました。お世話になりました。そんな中で大変恐縮なのですが、前日までに全体のスケジュールを知らせてもらえたらありがたかったです。
- ・全体的に良かったです。

活動写真



RYLA参加者一覧（敬称略）

受講生18名

クラブ名	氏 名
徳山	福谷 総大
徳山	長尾 彰大
広島 R A	藤岡 小雪
広島中央	板井 貴大
福山	松永 大和
宇部西	荒木 貴裕
防府	上田 友香
防府	岡 希美
岩国	河野 瑠南
岩国	菊池正太郎
広島東	河野 太牙
広島東	永井 駿也
広島北	藤井 聡
広島北	岡崎 光琉
広島西南	高見 一優
呉南	槇田 凌大
呉南	松岡 源起
松永	新幟 莉緒

ロータリアン32名

クラブ名	氏 名
下関東	松村 和幸
下関東	増井 洋平
宇部	平田 和幸
宇部西	黒石 雅子
防府	田吹 俊和
周南西	紺谷 好宜
岩国西	三浦 哲
広島北	西開地 憲
広島東	増本 義伸
広島陵北	村竹 正樹
広島西南	沖井 翔
広島中央	大坂 隆志
広島中央	七枝 敏洋
広島東南	見正 伸也
広島南	井内 康輝
広島南	米澤 千晴
江田島	三奈戸宜宏
江田島	堀尾 光政

クラブ名	氏 名
江田島	西元 栄治
呉	岡本 太
呉	長行事義人
呉南	山本 勝広
東広島	柳河 元木
東広島21	原 直樹
東広島21	土肥慎二郎
東広島21	古本 泰司
福山	菅田 貴之
福山北	藤井 好夫
福山西	菊池 愛
松永	新幟 有美
三次	水越ひろ子
三次中央	沈 勝義



この度は、第2710地区2024-25年度RYLAにご参加していただき誠にありがとうございました。当地区上田ガバナーの思いでもある『行動しよう、未来のために。』を受け、地域活性化の為にリーダーシップを発揮されている廣田氏、堀江氏そしてリーダーシップとはどういうものかと言う原点を学んでいただくために安行氏に講演をいただきました。各講師の方々の話を聞き、仲間と議論し、ほかの意見に耳を傾けられ、受講生皆様の成長への一助となれたなら幸いです。

今回は参加していただき誠にありがとうございました。

第2710地区2024-25年度RYLA実行委員会委員長
 山本茂男

この度のRYLA事業にお声がけいただきまして、本当にありがとうございました。清流線や錦町についてお話をさせていただく機会をいただき、また、参加者のみなさんがテーマについて真剣に議論している姿を目のあたりにして、心から嬉しく感動していました。

みなさんの貴重な意見をまずは仲間に伝え、実行できることはトライしてみます。

小さな町ですが、僕にとってはかけがえのない街です。どうかこれからも清流線や錦町の応援をよろしくお願いします。

新たな出会いに感謝し、錦町より皆様の益々のご活躍をお祈りしています。この度は誠にありがとうございました。

やましろ商工会青年部錦支部
 堀江 甲士